

～生産も頑張り、余暇も楽しむ生活を目指す～  
渡邊 修さん(今治市(旧朝倉村))

今治市青年農業者協議会 1975 年生まれ



### ☆経営概況☆

経営規模：花き 23a、施設野菜 12a、水稲 120a

栽培品目：花壇苗、イチゴ、水稲

労働力：夫婦、両親 パート 4人

### ☆ここがポイント☆

#### ■就農の経緯

農家の長男なので、幼い頃より農業を継ぐつもりでしたが、**両親が栽培しているイチゴ、水稲以外の作物を新規に栽培したい**とっていました。

高校卒業後、愛媛県立農業大学校に進学しました。卒業後、1年間、農業大学校の花き実習助手として従事し、翌年は、愛媛県花き総合指導センターで1年研修しました。実習助手や研修を通じて花きの栽培管理技術を高め、22歳の時に就農して、**花壇苗栽培**を始めました。

農地は、当時栽培していた水稲圃場の一部を花壇苗栽培に使用することとしました。**両親は主にイチゴ、水稲を担当、自分たち夫婦は花壇苗を主に担当**し、水稲作業の多忙な時期は両親の作業を手伝い、**家族間で責任と役割分担**とを明確にしています。

#### ■栽培技術、販売先の情報

春から夏は7～10品種、秋から冬は2品種程度の花壇苗を栽培しています。夏の気温が高くなる中、夏場の栽培管理が難しくなっていますが、**出荷先の卸し業者や花屋等と情報交換**をしながら、栽培する品種や花の色目等を決めています。出荷量の1/3は県内、2/3は県外に出荷しています。

現在、県内の花壇苗、鉢物農家、卸し業者等で組織する“えひめ花咲か人”に参加して、視察や、県外市場、県外花卸し業者のグループ、花屋等とも情報交換をしています。

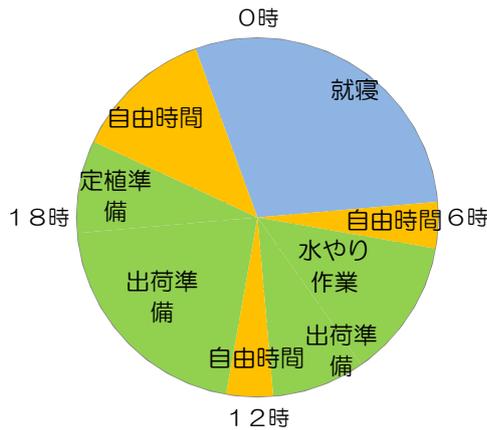


花壇苗の調製



出荷の準備

【ライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

4月～11月は、毎日水やりが必要でほとんど休日はありません。午後は出荷や定植、市場等へ自分で出荷・配達しています。

12月～3月は、育苗期は毎日水やりが必要ですが、育苗期を過ぎると週2～3回程度となるので、土日は趣味のスキーを子供と一緒に楽しんでいます。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	[休日は不定期ですが、半日は休みをとるようにしています]					
← 定植・水やり等の栽培管理・出荷準備・配達 →						
【普通期】	← 育苗・水やり等の栽培管理 →				← 休日 →	



出荷前のマリーゴールド、パンジー、ビオラ



子供たちとスキーを楽しむ

☆これからの夢や目指すもの☆

今後も、出荷量の拡大と品質の向上、県内外問わず販売先の確保・拡大に取組み、農業生産に懸命に取り組むとともに、余暇時間を確保して趣味の時間も楽しむ生活を続けたいと思っています。

☆メッセージ☆

農業は、繁忙期は休日も少なく厳しいですが、自分に合ったライフスタイルを考えることができるので、やり方によってやりがいのある仕事であり、自分のスタイルに合わせた農業ができます。